

# 馬主だより

第89号

平成29年12月22日  
発行 (一社)ばんえい競馬  
馬主協会事務局

## ☆1年を振り返り “決して忘れてはいけない”あのと時の『想い』!!

▼十勝平野はもう雪景色。空気の澄んだ冬の夜空には満点の星が輝く。晴れている時ほど放射冷却現象によって気温が下がりますが、この時期十勝の風物詩と言えば、帯広競馬場のばんえい競走馬の朝調教。夜が明ける前から始まり、朝日を背にした何とも神秘的な光景に心が洗われます。重賞競走のある開催日に行われている朝調教ツアーを是非ご利用ください。▼いよいよ新しい年が目の前に迫ってまいりました。皆様にとって今年一年はどんな年でしたか？ばんえい競馬は今年節目の10周年の年でした。▼それぞれに様々な思いがあることと思いますが、今があるのも、10年前のあの出来事があっての今なのだ、記憶を遡ると感慨深いものがあります。私たち関係者は“決してあのと時の事を忘れてはいけない”その『想い』を持ち続けることが次の10年、その先へと繋がるのだと信じ、ともに歩んでいきたいものです。▼発売額も好調のまま一年が終わろうとしています。好調な時こそ気を付けると言うように、いい事が続く時ほど実はたくさんのピンチが潜んでいます。知らず知らず、心のうちに慢心が芽生えてくる。もう安泰だと根拠のない自信がいつの間にか過信となり、態度や振る舞いに現れてくる。その先には、必ず破滅の結末が待っている。そう自らに言い聞かせながら新しい年を迎えたいと思います。皆様には穏やかな良い年末年始を迎えられますようご祈念いたします。

平成29年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催106日間

帯広市ばんえい振興室資料提供  
平成29年12月18日終了時

区分	発 売 金 額							
	平成29年度			平成28年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
帯広競馬場	106	902,576,100	816,277,200	106	924,409,300	110.57	97.64	
直営場外	旭川北彩都	106	424,665,200	460,108,300	106	508,840,100	92.30	83.46
	ミンスポット北見	106	308,590,700	205,076,400	106	243,903,000	150.48	126.52
	ハロンス岩見沢	106	167,828,900	134,449,200	106	156,385,000	124.83	107.32
	ハロンス釧路	106	66,614,700	57,349,400	106	65,262,900	116.16	102.07
	ハロンス名寄	106	70,822,200	89,548,100	106	99,468,800	79.09	71.20
	アプスポット網走	106	46,665,000	28,022,200	106	38,365,900	166.53	121.63
	琴似駅前	106	95,624,500	91,761,500	106	99,844,100	104.21	95.77
	イルムふかがわ	106	61,685,300	49,873,600	106	62,942,200	123.68	98.00
電話投票	オッズパーク	106	3,705,784,900	3,448,705,200	106	3,485,886,900	107.45	106.31
	OP(七重勝)	106	20,278,800	79,500,000	106	50,788,200	94.98	39.93
	OP(五重勝)	106	55,234,100		106	40,491,500		136.41
	競馬モール	106	3,674,825,500	3,070,909,400	106	3,031,770,400	119.67	121.21
	SPAT4	106	3,881,358,200	1,780,593,100	34	838,630,600	217.98	462.82
広域場間場外	—	901,995,600	718,361,800	—	829,496,000	125.56	108.74	
場外・電投計	—	13,481,973,600	10,214,258,200	—	9,552,075,600	131.99	141.14	
合計		14,384,549,700	11,030,535,400		10,476,484,900	130.41	137.30	
1日平均	106	135,703,299	104,061,655	106	98,834,763	130.41	137.30	

平成29年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで106日間)

平成28年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで106日間)

## 会議等の様子

### ○ 平成 29 年度上半期の監事監査を実施！！

#### ～ 理事の職務 協会の業務並びに財務、会計の状況を監査する ～

平成 29 年 10 月 20 日(金)当協会事務局会議室に於いて、平成 29 年 4 月から 9 月までの上半期における監査を熊谷、堂場両監事により、執行者から大阪代表理事会長、事務局職員立会のもと実施しました。

監査は、理事の職務の執行状況、また、協会の業務並びに財務及び会計の状況について、法令、定款、規程に則り、適正な運営がなされているか、関係資料、諸帳簿、その他の証拠書類等に基づき行われました。

上半期においては、これまで各事業計画どおり実施しておりますが、その中で、競走馬共済事業については、近年になく事故対象馬が大幅に増加していることから、今後の推移によっては、予算を大きく超過する可能性がある旨、事務局から報告しました。

#### 【監査資料】

資料 1 平成 29 年度実施事業報告・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況

資料 2 平成 29 年 4 月～9 月期決算報告書（財務諸表等）

- ・貸借対照表・正味財産増減計算書・予算対比正味財産増減計算書・収支計算書
- ・予算推移付収支予算管理月報・財産目録・貸借対照表内訳表・正味財産増減計算書内訳表・収支計算書内訳表・特定資産の増減及びその残高・固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

資料 3 預金残高証明書（帯広信用金庫本店、北海道銀行帯広支店）

資料 4 参考資料

- ・各事業に関連する費用額の配賦計算書（給料手当、給料手当以外の経費）・平成 29 年度流通促進事業純益総括表・平成 29 年度機構図・平成 29 年度ばんえい競馬発売成績

### ○ 平成 29 年度第 6 回執行役員会開催！！

#### ～ 来年度の各事業に係る懸案事項等について検討する ～

平成 29 年 10 月 21 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 29 年度第 6 回執行役員会を開催しました。役員会では、競走馬弔慰金の査定を行い、対象馬 5 頭について審議の結果、全て原案のとおり承認され給付額を決定しました。これによって、今年度の共済事故対象馬が 13 頭で、弔慰金給付額が 10,550 千円となり、予算を超過することが確実となりました。

また、第 4 回理事会に先立ち、議事について意見調整を行いました。

その他、来年度の共済事業、精液検査事業等に係る懸案事項について審議。いずれも会員の意向を踏まえ中期五ヶ年経営計画との整合性を図りながら、慎重に見直しを図る方向で検討すると共に、然るべき時期には、理事会で具体的に審議することとなりました。

#### 【執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 平成 29 年度第 4 回理事会議案
- (3) 来年度以降の共済事業に係る負担金及び弔慰金の考え方
- (4) 理事の定数及び役員選任方法

- (5) 競走馬診療業務サポート事業の考え方  
 (6) その他 ① 来年度以降の精液検査について

【馬弔慰金支給対象馬】 5頭 4,500,000円

内 訳

(単位：円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ソウテンブルー	6	佐々木 敏 雄	業務中	700,000
ホクセイボス	5	(株)北西ファーム	業務中	800,000
カクホウキング	4	松 井 紀 行	業務中	800,000
タキニシサンデー	5	末 松 秀 義	業務中	1,200,000
ウメノスピード	5	小 倉 たまき	業務中	1,000,000

## ○ 平成 29 年度第 4 回理事会を開催！！

### ～ 表彰規程被表彰者及び旅費規程の改正案等について審議 ～

平成 29 年 10 月 21 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 29 年度第 4 回理事会を開催しました。

報告事項は、第 1 号から第 4 号までそれぞれ事務局から報告。その後、議案については、当協会表彰規程に基づき、被表彰者 2 名について審議。当協会の役員として永年に亘る功績を称え前代表理事の赤堀幸英様と前理事の須藤一夫様に対しまして、感謝状と褒賞品を贈ることで決定しました。また、当協会旅費規程の一部改正については、現下の経済情勢に鑑み旅費（宿泊料）の見直しについて検討を行い、その結果、平成 30 年 1 月 1 日から宿泊料を増額することで承認されました。

協議案では、近年、馬の取引価格高騰を背景として、以前から会員の意向もあり、懸案であった弔慰金額と併せて共済負担金の見直しについて協議しました。次年度に向けては、共済事業の抜本的な見直しを図ることで一致。見直しに当たっては、帯広市へ新たに財政的な支援を要請することとなりました。

また、帯広市との意見交換事前協議では、好調な発売状況を踏まえ、例年 12 月の帯広市補正予算に向けて、報償費の増額要請について意見調整を行いました。

その他の報告事項では、平成 27 年度から帯広市の補助事業を活用して実施している「競走馬診療業務サポート事業」について、この 3 年間で一定程度の目的は達成できたことから、来年度以降は、帯広市が民間で開業している診療所に直接支援する体制も含め、現在、協議検討中であり、そうなれば当協会では今年度を以って当該事業が終了となる旨を報告いたしました。

なお、詳細については、今後、スムーズに移行できるように、帯広市、診療所とも事務引継ぎ等について協議することとなりますが、会員各位には、新たな診療体制が決まり次第改めてご報告申し上げます。

### 【第 4 回理事会議事】

日程 1	報告第 1 号	競走馬弔慰金給付額の決定について
	報告第 2 号	正会員の入会申込みについて
	報告第 3 号	薬物陽性馬発生について
	報告第 4 号	監事中間監査実施について
日程 2	議案第 1 号	当協会表彰規程に基づく表彰について
日程 3	議案第 2 号	旅費規程の一部改正について
日程 4	協議案第 1 号	次年度弔慰金及び共済負担金の見直し検討について
日程 5	協議案第 2 号	帯広市意見交換事前協議について

- 日程6 その他
- ① 一般社団法人登記完了
  - ② 公益目的支出計画の実施完了の確認書
  - ③ 競走馬診療業務サポート事業の終了
  - ④ 来年度以降の精液検査

【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
29-7	JSファーム(株) 代表取締役 鈴木田 和行	法17-1284	道南ブロック
29-8	鈴木 正浩	東12-0088	道南ブロック

**情報・ご案内**

○ “全道祭典ばんば1才馬決勝大会開催！！”

～ 雌ミラクルカオリ 雄ウチウラタカラ V 全道1才馬の頂点に ～

平成29年10月14日（土）、15日（日）の両日、帯広競馬場で「全道祭典ばんば1才馬決勝大会」（主催：北海道軌用馬振興対策協議会）が行われました。

毎年秋の恒例となっておりますが、今年も、道内各地で開催された市町村の草ばんば競技大会で優秀な成績を収めた1才馬を選抜して、本番さながらのレースで決勝大会が開催されました。

初日、14日は、雌馬の部10頭が出走（負担重量330キログラム）し見事優勝に輝いたのは、釧路選抜の「ミラクルカオリ」（生産者、所有者：藤田 千代様、釧路管内弟子屈町）タイムは1分31秒4。

翌15日は、雄馬の部5頭が出走（負担重量350キログラム）では、所有者自らが手綱を握り騎乗した渡島選抜の「ウチウラタカラ」（生産者：七戸 光次様、所有者：三浦 信一様、渡島管内森町）がタイム1分55秒4で優勝しました。おめでとうございます。出走したいずれの馬も今後の活躍に期待いたします！！

【平成29年度 全道祭典ばんば1才馬決勝大会成績表（雌馬の部） 負担重量330キログラム】

着順	枠番	馬名	性	選抜地区	所有者	生産者	騎手	馬体重	タイム
1	4	ミラクルカオリ	雌	釧路	藤田 千代	藤田 千代	葛西 嘉正	720	1:31:4
2	10	シンエイミライ	雌	北見	上口 詩子	吉井 宏保	岡村 紀男	650	1:59:0
3	3	ヤマザキヒカル	雌	根室	杉岡 正美	山崎 勇	杉岡 正美	600	2:03:9
4	1	コマドリヒメ	雌	釧路	飯塚 貞子	岩渕 寿和	飯塚 勝夫	700	2:15:2
5	2	ワラッテユルシテ	雌	十勝	(株)キューサンファーム	樫野 元一	宮野 勲	830	2:17:4
6	6	ホクショウモモエ	雌	空知	井内 昭夫	井内 昭夫	島津 信	700	2:24:0
7	5	クィーンアスリート	雌	上川	中山 一行	山崎 征英	平井 敏幸	700	3:33:8
8	8	キンブクヒメ	雌	十勝	金田 龍二	西村 正順	金田 龍二	700	3:47:1
中止	7	フジザクラ	雌	釧路	城川 修一	野澤 保子	加藤 信一	750	—
中止	9	ミスアアモンド	雌	根室	下内美繪子	加藤 勇	下内 秀勝	680	—

【平成 29 年度 全道祭典ばんば 1 才馬決勝大会成績表（雄馬の部）負担重量 350 ㌔】

着順	枠番	馬名	性	選抜地区	所有者	生産者	騎手	馬体重	タイム
1	5	ウチウラタカラ	雄	渡島	三浦 信一	七戸 光次	三浦 信一	750	1:55:4
2	2	ホクショウハルキ	雄	空知	井内 昭夫	滝川 裕之	島津 信	750	2:05:1
3	3	コクジュ	雄	十勝	小森 唯永	斉藤 寿道	寄木 由紀	700	2:05:7
中止	1	アアモンドマック	セ	根室	下内美繪子	下内 節子	菊池 功	600	—
中止	4	アアモンドコーネル	セ	根室	下内美繪子	芝桜高橋牧場	下内 秀勝	700	—

○ “大河原騎手 調教師免許試験合格 調教師開業は来年4月！！”

11月17日(金)地方競馬全国協会の今年度第2回調教師免許試験の合格者が発表されました。現役通算2位の3,368勝(当時)を挙げているトップジョッキーの大河原和雄騎手(57歳)が、地方競馬全国協会の調教師免許試験に初受検で合格しました。

大河原騎手は、1985年4月に騎手デビュー。着実に勝ち星を重ね96年と98年には年間最多勝騎手となり、2006年に2千勝、14年には3千勝を達成するなど、多くのファンに支持されるなど活躍を続け、この間、13年末には「日本プロスポーツ大賞」の功労賞。15年に「NAR グランプリ 2014」特別賞を受賞。同年に行われたばんえい最高峰レースの「ばんえい記念」は、キタノタイショウで制覇するなど、これまでも多くの名馬に騎乗してきました。

通算成績は、2万7522戦3372勝(11月20日終了時点)、うち重賞は54勝している。

12月1日付けで調教師の免許が交付となっているが、調教師として新たに開業するのは来年4月からとなります。

大河原 和雄(おおかわら かずお)騎手プロフィール																																											
※2017年11月20日(月) 終了時点																																											
生年月日	1960年2月14日(57歳)																																										
出身地	北海道別海町																																										
本年度成績	586戦 66勝																																										
通算成績	27,522戦 3,372勝(うち重賞54勝)																																										
初騎乗	1985年4月20日(騎乗馬:カツハル号)																																										
初勝利	1985年4月20日(騎乗馬:カツハル号)																																										
主な重賞優勝	<table border="0"> <tr> <td>1993年</td> <td>帯広記念</td> <td>カツラシンザン号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イレネー記念</td> <td>リキミドリ号</td> </tr> <tr> <td>2000年</td> <td>ばんえいオークス</td> <td>コスモカップ号</td> </tr> <tr> <td>2001年</td> <td>ばんえい記念</td> <td>サカノタイソン号</td> </tr> <tr> <td>2004年</td> <td>イレネー記念</td> <td>アオノキセキ号</td> </tr> <tr> <td>2005年</td> <td>イレネー記念</td> <td>カネタマル号</td> </tr> <tr> <td>2007年</td> <td>ばんえいオークス</td> <td>ニシキガール号</td> </tr> <tr> <td>2009年</td> <td>イレネー記念</td> <td>キタノタイショウ号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ばんえいダービー</td> <td>キタノタイショウ号</td> </tr> <tr> <td>2010年</td> <td>イレネー記念</td> <td>テンマデトドケ号</td> </tr> <tr> <td>2011年</td> <td>天馬賞</td> <td>キタノタイショウ号</td> </tr> <tr> <td>2012年</td> <td>ばんえいオークス</td> <td>タカラハヤヒメ号</td> </tr> <tr> <td>2013年</td> <td>イレネー記念</td> <td>ショウチシマシタ号</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>ばんえい記念</td> <td>キタノタイショウ号</td> </tr> </table>	1993年	帯広記念	カツラシンザン号		イレネー記念	リキミドリ号	2000年	ばんえいオークス	コスモカップ号	2001年	ばんえい記念	サカノタイソン号	2004年	イレネー記念	アオノキセキ号	2005年	イレネー記念	カネタマル号	2007年	ばんえいオークス	ニシキガール号	2009年	イレネー記念	キタノタイショウ号		ばんえいダービー	キタノタイショウ号	2010年	イレネー記念	テンマデトドケ号	2011年	天馬賞	キタノタイショウ号	2012年	ばんえいオークス	タカラハヤヒメ号	2013年	イレネー記念	ショウチシマシタ号	2015年	ばんえい記念	キタノタイショウ号
1993年	帯広記念	カツラシンザン号																																									
	イレネー記念	リキミドリ号																																									
2000年	ばんえいオークス	コスモカップ号																																									
2001年	ばんえい記念	サカノタイソン号																																									
2004年	イレネー記念	アオノキセキ号																																									
2005年	イレネー記念	カネタマル号																																									
2007年	ばんえいオークス	ニシキガール号																																									
2009年	イレネー記念	キタノタイショウ号																																									
	ばんえいダービー	キタノタイショウ号																																									
2010年	イレネー記念	テンマデトドケ号																																									
2011年	天馬賞	キタノタイショウ号																																									
2012年	ばんえいオークス	タカラハヤヒメ号																																									
2013年	イレネー記念	ショウチシマシタ号																																									
2015年	ばんえい記念	キタノタイショウ号																																									

## ○ 帯広市ふるさと納税返礼品「ばんえいオリジナルグッズ」セット導入！！

帯広市は今年度よりふるさと納税（おびひろ応援寄付金）の寄付者に贈る返礼品として、ばんえい競馬のTシャツや帽子、ストラップ、キーホルダーや山岸伸さんの「ばんえい競馬」写真集などを集めた、“ばんえいオリジナルグッズ”セット（30,000円の寄付でもらえる）の提供を11月28日から開始しました。その他、スイーツや牛肉、長いもなど十勝の特産品87品目が返礼品として用意されております。

詳しくは、別紙のちらし又はふるさと納税サイト（下記アドレス）をご参照ください。

<https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/01207>

## ○ とかち馬文化を支える会 10周年メモリアル記念冊子発行！！

### ～ 十勝の馬文化を次代へつなぐ ～

「NPO法人とかち馬文化を支える会」は、今年8月に設立満10周年を迎え、その10年の歩みと活動を紹介する記念冊子を発行しました。

ばんえい競馬が廃止の危機に立たされた平成18年。その翌年に発足されてはや10年もの歳月が経過したことに驚きを覚えます。この間、馬文化を支える会は、ばんえい競馬の支援や十勝の馬文化を継承するために様々な活動に取り組み、正に馬文化を支えてられました。これらの活動に対しまして改めて敬意を表する次第です。

この度、馬文化を支える会様のご好意により当該記念冊子を頂戴いたしましたので、会員の皆様に配布をさせていただきます。

今後、益々馬文化の継承にご尽力され、ばんえい競馬と共に歩んで行かれますことをご祈念申し上げます。

## ○ 平成29年度の馬登録検査日程決まる 只今馬登録申請受付中！！

### ～ 注：第1回能力検査受検馬は2月23日（金）まで必ず申請を ～

平成29年度の馬登録検査については、下記のとおり日程が決定いたしましたので、お知らせいたします。

来年4月予定の第1回能力検査を受検するためには、当該定期馬登録検査（下記日程）を受けておくことが必要です。（なお、馬登録申請は、2月23日（金）までに必ず申請願います。）

また、その後については、第1回能力検査後に1回と5月から8月は、各能力検査日の午前中（隔週）に登録検査を行なう予定です。

なお、来年3月の定期馬登録検査日は、混雑を避けるため、あらかじめ調教師毎に検査日（検査時間）が指定されますので、お間違えのないようご注意ください。登録検査に関する詳細につきましては、預託予定の調教師へ事前にご確認ください。

#### 【定期馬登録検査日程及び場所】

検査日時	検査場所
平成30年3月7日（水） 9：00～ 平成30年3月8日（木） 9：00～	帯広競馬場 装鞍所
平成30年3月14日（水） 9：00～ 平成30年3月15日（木） 9：00～	

■【登録検査時の注意事項】

- ① 検査時に特徴の違う馬が発見された場合に備え、その馬の入手経路がわかるようにしておいてください。
- ② 検査時は、必ず馬に轡（くつわ）を装着してください。
- ③ 検査時は、特徴が判別できるよう馬体の汚れを落としてください。
- ④ 検査当日、現地（競馬場）での申請受付は一切いたしません。
- ⑤ 検査当日、競馬場に入りゅうし登録検査を受検する場合には、必ず馬伝染性貧血検査及び三種混合ワクチン（所定の間隔で2回実施）の証明書を携行してください。当該証明書のないものは、競馬場への入りゅうは勿論、登録検査は受けられません。ご注意願います。

## レース情報

### ○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
10月15日	第40回 ナナカマド賞	ミスタカシマ	永井 進	槻館 重人
10月29日	第38回 北見記念	コウシュハウンカイ	秋田 忍	松井 浩文
11月5日	第42回 ばんえい菊花賞	コウシュハサマー	広瀬 豪	岡田 定一
11月12日	第42回 クインカップ	ブルーオーシャン	高柳 稔	松井 浩文
11月26日	第8回 ドリームエイジカップ	センゴクエース	千石 貞子	槻館 重人
12月3日	第42回 ばんえいオークス	ナカゼンガキタ	高田 和廣	西 康幸

**優勝おめでとうございます！！**

#### ◆ 第40回ナナカマド賞（2歳オープン）

10月15日（日）は重賞・ナナカマド賞（2歳オープン）が行われ、単勝1番人気のミスタカシマが優勝。この世代で最初のタイトルウイナーとなり、牡馬が相手でも互角以上の力を証明しました。

2歳戦らしく、上位に推された各馬のオッズは接近。いちい賞を制したミスタカシマがわずかに1番人気となり、オレワチャンピオンが2番人気。以下、5番人気のジェイコマンダーまでが単勝ひと桁台で続き、いわゆる“上位拮抗”の戦前評価となりました。

馬場水分は徐々に下がり、このレースを迎えたころには1.5%。そうはいつでも、軽量の2歳戦だけに、道中は横一線のままハイペースで進みます。わずかにミスタカシマが先頭をうかがいますが、他馬も遅れず追走。10頭がほぼ並んだままで第2障害を迎えました。

オレワチャンピオンが動いた瞬間に、各馬も反応。ミスタカシマ、ハマノダイヤモンド、カネサダイヤモンドが仕掛け、ウィナーサラもこの一角。なかでも抜群の登坂を見せたのはオレワチャンピオンとミスタカシマで、この2頭が並んで障害を突破します。やや遅れてハマノダイヤモンド、さらに離れた4番手でジェイコマンダー、カネサダイヤモンドなどがクリアしていきました。

最後の平坦路に入ったあたりではハマノダイヤモンド、ジェイコマンダーの脚いろに切れが見られましたが、残り20メートル付近から先行2頭と同様の脚どり。ミスタカシマが先頭を死守しながら、残り10メートルを迎えます。その後も、追っていたオレワチャンピオンの脚いろが鈍り、さらに後続の伸びも今ひとつ。結局ミスタカシマが最後まで粘り切り、最初の世代チャンピオンに輝きました。オレワチャンピオンが後続の追撃を振り切って2着。ジェイコマンダーも懸命に脚を伸ばして3着を確保しました。

勝ったミスタカシマの母は、2007年のばんえいプリンセス賞2着、黒ユリ賞3着、そしてばんえいオークス4着のアグリタカラ。母が成し得なかった重賞制覇を、2歳最初の重賞で早くも成し遂げました。牝馬によるナナカマド賞制覇は1997年のキリツレディ以来、20年ぶりのこと。第2障害を下りてからのしぶとい末脚が印象的で、今後とも底力が問われる重賞路線での活躍が期待できそうです。

### ◆ 第38回北見記念（3歳以上オープン）

10月29日（日）は重賞・北見記念（3歳以上オープン）が行われ、単勝3番人気のコウシュハウンカイが優勝。惜敗続きにピリオドを打ち、ビッグレースが続く冬シーズンへ向けて、さい先のいいスタートを切りました。

今のばんえいを代表する面々が集い、少頭数でも難解なメンバー構成。実績と地力を買われたオレノココロが1番人気に推されたものの、オッズは2.9倍。以下、3.5倍でニュータカラコマ、3.7倍でコウシュハウンカイと、差のない数字で続きます。馬場水分2.2%の馬場もどう作用するか、興味の尽きない一戦となりました。

800キロ台後半の高重量戦とはいえ、湿った馬場により道中はテンポ良く進みます。いったん置かれかけたシンザンボーイも馬群に追いつき、各馬とも横一線の状態で第2障害を迎えました。

最初に仕掛けたのはキサラクで、ニュータカラコマ、コウシュハウンカイも早めに登坂を開始。フジダイビクトリー、オレノココロもこれに続きます。しかし、高重量戦での障害では、やはりニュータカラコマの安定感が光るところ。確かな脚どりで突破し、最後の平坦路に向かいました。コウシュハウンカイも差のない2番手でクリア。やや離れてキサラクが突破し、フジダイビクトリーが4番手。障害でヒザを折ったオレノココロは、シンザンボーイと並んで最後方から逆転を狙います。

先頭を行くニュータカラコマは徐々に脚いろが鈍り、残り20メートル付近でコウシュハウンカイが先頭へ。こうなればもうコウシュハウンカイの独壇場。そのままゴールまできっちり脚を伸ばし、先頭で荷物を運び切りました。いったん脚を止めたニュータカラコマをキサラクがかわし、2番手に浮上。しかし、さらにゴール寸前で脚いろ良く伸びたフジダイビクトリーがキサラクをかわし、2着で入線しました。オレノココロも良く追い上げたものの4着止まり。ニュータカラコマも5着に敗れました。

勝ったコウシュハウンカイは、4月のばんえい十勝オッズパーク杯以来となる重賞6勝目。勝ち切れなかったこれまでのうっぴんを晴らすような、完璧なレースを見せました。高重量戦での安定感は抜群で、今年度もシーズン後半の活躍が存分に期待できそうです。

昨年このレースの覇者、フジダイビクトリーが2着。今季は勝ち切れなくても堅実なレースを演じており、やはり重賞戦線では軽視できない存在です。今後も馬場や展開次第でチャンスが巡ってくるでしょう。



### ◆ 第42回ばんえい菊花賞（3歳オープン）

11月5日（日）は重賞・ばんえい菊花賞（3歳オープン）が行われ、単勝7番人気の伏兵コウシュハサマーが優勝。2着に最低人気のナカゼンガキタが入り、牝馬ワンツー決着の結果、馬連単は2万5000円超、3連単は22万円超の波乱となりました。

ばんえい大賞典の2着馬で、近況の安定感が光るメジロゴーリキが1番人気に推されましたが、5番人気のマツカゼウンカイまでが単勝ひと桁台のオッズ。以下もそれなりに票が入っており、混戦模様の一戦となりました。

馬場水分は1.6%と若干重めで、各馬2度3度、脚を止めますが、メジロゴーリキが引っ張った流れは若干速めの印象。脚を止めては即座に歩き出し、他馬に息をつかせず、第2障害を迎えました。

ナカゼンガキタ、メジロゴーリキ、ウンカイタイショウが並んで仕掛け、やや遅れて動いたコウシュハサマー、シンエイボブ、ミノルシャープ、センショウニシキの、実に7頭が切れのある登坂。あっという間に障害を突破し、最後の平坦路に向かいました。

残り30メートル付近でナカゼンガキタ、コウシュハサマーが馬体を併せるようにして先頭。ミノルシャープも切れのある末脚を見せ、ぐんぐん差を詰めにかかります。ほか4頭に、後方から差を詰めてきたカネサスペシャルが加わり、5頭が差のない4番手集団として機をうかがいます。8頭が3馬身ほどで続く大接戦で、残り10メートルを突破。しかし先頭の2頭の脚いろは衰えず、追走組の末脚もひと息。結局、2頭による叩き合いを0秒2差で制したコウシュハサマーが、悲願の重賞初制覇を果たしました。1番人気のメジロゴーリキは勝ち馬から2秒3差でゴールしたものの6着。9着のマツカゼウンカイまでが10秒以内にゴールするという激戦で、3歳二冠目は幕を閉じました。

コウシュハサマーは牝馬ながら、ばんえい大賞典3着、はまなす賞2着と、牡馬顔負けのレースを見せてきましたが、今回が初の重賞タイトル。隣枠のナカゼンガキタと併せるような形になったのが有利に働いたのは否めませんが、それをきっちりものにしたあたり、抜群の勝負根性がうかがえます。牝馬同士の一戦となるばんえいオークスはもちろん、3歳の頂上決戦・ばんえいダービーでも要注目の存在です。

一方、大魚を逃したのはナカゼンガキタ。数少ないタケタカラニシキの産駒で、父子重賞制覇はなりません。ただ、今回のレースを見る限り、またチャンスは巡ってきそう。今後のレースぶりに注目です。

### ◆ 第42回クインカップ（4歳牝馬オープン）

11月12日（日）は重賞・クインカップ（4歳牝馬オープン）が行われ、単勝1番人気のブルーオーシャンが優勝。黒ユリ賞以来となる重賞2勝目を挙げ、今の勢いと地方の高さを見せつけました。

馬場水分は徐々に下がり、このレースを迎えるころには2.0%。普段よりも若干重い重量ということもあり、各馬とも慎重に歩を進めます。わずかにフジノウンカイ、ブルーオーシャン、コウシュハローヤルあたりが前々で運ぶものの、ほとんど差のない状態で第2障害に到達しました。

最初に動いたのはフジノウンカイ。続けてブルーオーシャン、タイキン、コウシュハローヤルも仕掛けます。このなかではブルーオーシャンが多少バランスを崩しながらも力強い登坂を見せ、ひと腰でクリア。しかし、やや遅れてタイキン、ヒカルナナヒメが突破すると、ホクトノホシ、ビュウティハート、ラッセルクインも続きます。これにコウシュハアレップも加わり、7頭が入り乱れるような形で最後の平坦路を迎えました。

ここからしぶとい粘りを発揮したのはブルーオーシャン。各馬が猛追するなか、突き放すわけでもなく、迫られるわけでもなく、終始1馬身ほどの差で先頭を保ち続けます。むしろ追うタイキンの脚いろが鈍くなり、先頭争いから脱落。ヒカルナナヒメ

も懸命に食い下がりますが、これといった決め手に欠け、追走するのが精いっぱい。結局、ゴールまで確かな脚どりを見せたブルーオーシャンが1秒7差で逃げ切り、4歳女王の座に就きました。ヒカルナナヒメが2着で、3頭が横並びとなった3着争いはビューティハートに軍配が上がりました。

2歳シーズン以来となる、久々の重賞勝ちを果たしたブルーオーシャン。不振を極めた時期もありましたが、一度波に乗ると好調が続くタイプで、今も好循環のなかでレースができています。歯車さえかみ合えば、牝馬重賞はもちろん、同世代の牡馬が相手でも互角のレースを見せてくれるはず。今後も要注目の存在です。

#### ◆ 第8回ドリームエイジカップ（4歳以上馬齢選抜）

11月26日（日）は重賞・ドリームエイジカップ（4歳以上馬齢選抜）が行われ、単勝1番人気のセンゴクエースが優勝。ポプラ賞以来となる重賞11勝目を挙げるとともに、初古馬タイトルを手に入れました。

どれが勝ってもおかしくないような戦前予想。わずかにセンゴクエースが1番人気となり、堅実に走るニュータカラコマ、復調を示すフジダイビクトリー、そして北見記念を制したコウシュハウンカイと、実績馬がずらりと上位人気に名を連ねます。5番人気のキサラキクも含め、力の拮抗した好勝負が期待されました。

折りからの雪もありましたが、馬場水分は2.2%でスタート。ここ最近の重賞より軽い荷物ということもあって、各馬勢いよく第1障害を突破します。ただ、その後はペースも緩み一進一退。ほぼ横一線のまま、第2障害を迎えました。

最初に動いたのはサクラリュウで、フジダイビクトリー、ハクタイホウも続きます。その後もコウシュハウンカイ、ニュータカラコマ、キサラキクと、続々と障害を登り始めます。掛かりよく登り切ったのはフジダイビクトリー、サクラリュウ、コウシュハウンカイ、ハクタイホウ、ニュータカラコマ。やや遅れて仕掛けたセンゴクエースも圏内でクリアし、6頭がほぼ横並びで最後の平坦路を迎えました。

残り30メートル標識でも、6頭が横一線。手に汗を握る攻防が続きましたが、その中からグッと抜け出してきたのがセンゴクエース。ニュータカラコマがこれに食い下がり、フジダイビクトリーも懸命な粘りを見せます。しかし、センゴクエースは確かな脚どりを披露。そのままゴールまで歩き続け、先頭で荷物を運び切りました。以下フジダイビクトリー、ニュータカラコマと入線。コウシュハウンカイが4着でフィニッシュし、上位人気馬による見応えのある一戦が幕を閉じました。

勝ったセンゴクエースは前述の通り、重賞11勝目。これまでの10勝はすべて世代限定戦で、今回が初めての古馬タイトルとなりました。偉大な父母に恥じない実績を積み上げており、着実な成長は明らか。今後のビッグタイトルも十分に期待できそうです。

#### ◆ 第42回ばんえいオークス（3歳牝馬オープン）

12月3日（日）は重賞・ばんえいオークス（3歳牝馬オープン）が行われ、単勝2番人気のナカゼンガキタが優勝。4回目の重賞挑戦で初タイトルをゲットし、3歳女王の座に就きました。

注目は、ばんえい菊花賞で1、2着となったコウシュハサマーとナカゼンガキタ。当時はそれぞれ7、10番人気でしたが、牝馬同士となれば話は別。2頭で人気を分け合い、3番人気にもばんえい菊花賞5着のシンエイボブ。牡馬相手の重賞で健闘を続けている各馬が人気を集めました。

馬場水分1.4%でゲートオープン。ナカゼンガキタが積極的に先行し、コウシュハサマー、シンエイボブがこれをマークするように追走。後方勢は追走に手間取り、多少ばらけた展開で進みます。それに構うことなく、ナカゼンガキタは強気の競馬を演じ、先頭で第2障害にたどり着きました。

全馬を待つこともなく、ひと息入れたナカゼンガキタが登坂を開始。続けてシンエ

イボブ、コウシュハサマーも動きます。ナカゼンガキタとシンエイボブは馬体を併せる形で障害を突破。コウシュハサマーは2頭からやや遅れてクリアしますが、勝負圏内で最後の平坦路に向かいます。少し離れた4番手でキタノサカエヒメが障害を越え、マツノビューティもこの一角で続きました。

先頭の2頭は早くも残り20メートル。びっしりと併せたまま、ゴールへ向けて歩を進めます。残り10メートルを切っても互いに譲らず、手に汗を握るマッチレースを展開。しかし、残り5メートル付近で、ナカゼンガキタがクビほど先行。そのままゴール線まで押し切り、念願の初重賞を手に入れました。3着はしまいに脚を伸ばしたキタノサカエヒメ。コウシュハサマーは伸びを欠き、4着に敗れました。

ナカゼンガキタはここまでの10戦で【5・2・2・1】と、目覚ましい充実ぶりと成長を見せています。前半から強気に運んで、最後の叩き合いを制したあたり、精神力の強さもうかがえました。ばんえい菊花賞2着の実績からは、牡馬相手でも力は五角以上。ばんえいダービーを含めた今後の重賞戦線での活躍が、大いに期待できそうです。

わずかの差で敗れたシンエイボブにとっては悔しい一戦。ただ、今回ばかりは勝ち馬が充実ぶりを見せてつけて完璧なレースをした印象で、この馬自身のレースぶりは非常に良かったと言えます。これだけのレースができれば、いくらでもチャンスは巡ってくるでしょう。

3着のキタノサカエヒメは黒ユリ賞2着以来の重賞挑戦でしたが、やはり同世代の牝馬では力上位。さらなる成長次第で、タイトルも見えてくるはずです。

※レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。